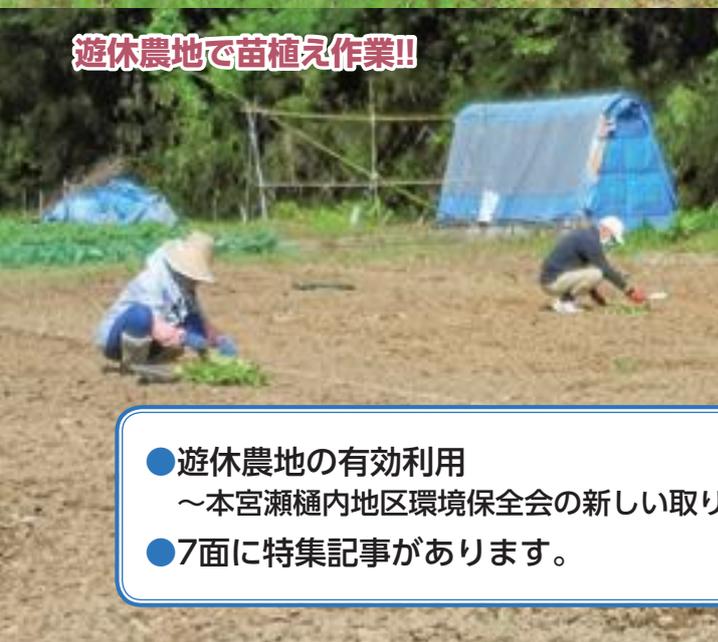


農業委員会だより



遊休農地で苗植え作業!!

- 遊休農地の有効利用
～本宮瀬樋内地区環境保全会の新しい取り組み～
- 7面に特集記事があります。

主な内容

- 相模女子大学が農業モニターツアー!! …2面
- 東北地区牛削蹄競技大会が本市で開催…2面
- 地域の後継者紹介 ……3面
- 農業歴史スポット ……3面
- 家庭菜園を紹介します! ……4面
- 農業委員・農地利用最適化推進委員
研修会に参加 ……5面
- 農業機械の作業による事故に注意 ……6面
- 自然災害に備えて
農業保険に加入しましょう ……6面
- 遊休農地の有効利用 ……7面
- 農地の違反転用にご注意下さい! ……8面
- 農業者年金に加入しましょう ……8面



相模女子大学が農業モニターツアー!!

本市と地域共同活動協定を結ぶ相模女子大学の学生は7月15日と16日の2日間、農作業体験、農業イベント見学、料理教室などを通して、本市の農産物や産品の魅力、安全性を学ぶモニターツアーを実施しました。

農作業体験では、じゃがいもやアスパラガスなど、夏野菜の収穫作業を行いました。



じゃがいもを一つ一つ丁寧に収穫



「なないろ市」を見学する学生

イベントは、本宮若手農業団などの農業団体が出店する「なないろ市」を見学し、学生たちは、会場の盛況ぶりを楽しんでいる様子でした。

料理教室では、本市の農産物や自分たちが収穫した夏野菜を使って、郷土料理である味噌かんぶらやアスパラガスの天ぷらなどに挑戦しました。調理を楽

しみながらみんなで協力して料理を完成させました。教室後の昼食会では、自らが収穫したとれたての野菜で作った料理に舌鼓を打っていました。



みんなで楽しくアスパラガスの天ぷら作り

学生たちは、今回のツアーを通して学んだ本市の農産物の魅力や安全性、農業のすばらしさを広く発信していきます。



東北地区牛削蹄競技大会が本市で開催

「第33回東北地区牛削蹄競技大会」が8月31日、福島県家畜市場で開催されました。

本大会は、東北各県の牛削蹄師が集まり、牛削蹄に関する知識、技術を競う大会です。今回は県内で唯一の家畜市場である当市場での開催となり、東北各県から計17名の選手が出場しました。

大会は、牛の歩き方や



牛削蹄競技の様子



牛削蹄判断競技の様子

姿勢、蹄の形などを見て、削蹄方針を決める「牛削蹄判断競技」(筆記)と「牛削蹄競技」(実技)の2種目が行われ、選手たちは牛の様子を真剣な眼差しで、入念に確認し、丁寧に蹄の形を整えていました。



削蹄作業

地域の後継者紹介

国分 こくぶん
 顕一郎さん けんいちろう (本宮)

3年前に会社をやめ、家業の糴屋を継ぎ、甘酒、味噌、糰など、人も身体も喜ぶ健康的な発酵食品をつくっています。農家さんが育てた作物の良さを引き立たせ、付加価値をつけて、より良い商品をつくる仕事です。

働いていて感じることは、人と人のつながりの大切さです。加工作業などは朝や夜に行い、日中は販売店に向いて、お客様と話すことを心がけています。何回も出向いて、話を続けると、顔も覚えてもらえ、ふとした時に商品開発のヒントや、ニーズを知ることができます。また、一緒に働く農家さんからは貴重な話が聞けます。作物を育てるうえで大切にしていることが分かることより良い商品づくりにつながります。一緒に良い仕事ができます。

人からは、また声をかけてもらえたりします。つながりは本当に大切ですね。農家さんが良いものをつくってくれるから、良い商品がつくれるんだと強く感じます。作物には旬があるので、旬のものを美味しいうちに商品化できるようにスピード感を意識しています。

美味しいものを届けるためには、農家さんのような生産する人とそれを商品化する人、どちらも必要です。今後も協力して皆様に喜んでもらえる商品をつくっていききたいです。



人と人のつながりを大切に!!

仕事について熱く語る国分さん



甘酒

農業歴史スポット ~安積疏水土地改良区~

安積疏水土地改良区は郡山市に事務所を構え、猪苗代湖の水を郡山市、須賀川市、猪苗代町、そして本宮市の3市1町約8,600haの水田に届けています。本市へは、猪苗代湖からの水を五百川へ落として、幹線水路をつたって水田に運ばれます。

☆開墾の歴史

江戸時代、安積原野は小さな川が流れている荒れた野原でした。阿武隈川はこの原野よりも低い位置にあり、猪苗代湖と安積原野の間には、奥羽山脈があるなど、様々な問題があり、水を引くことは非常に困難でした。

そこで当時、福島県の役人だった中條政恒は、奥羽山脈にトンネルを掘り猪苗代湖の水を引くことで、安積原野に黄金の稲を实らせる計画を提案し、開拓を進めました。それに賛同した明治政府の大久保利通により、明治政府の大事業が行われ、荒野は美田に生まれ変わりました。

☆安積疏水管理区域内には開墾の記念碑が色々なところで見られます。探してみたいか？



荒井字青田原



岩根字矢沢川



岩根字輪ヶ淵

お問い合わせ 本宮市農業委員会 0243-24-5387

家庭菜園を紹介します！

滝本さんは、自宅の近くに約250㎡の畑を所有し、家庭菜園を行っています。現在、なすやきゅうり、さつまいもなど約5種類の野菜を栽培していて、今後は、大根や白菜にもチャレンジしたいとのこと、農業の楽しさ、収穫の喜びを味わっています。

家庭菜園の醍醐味には、自分で野菜を育てることで、作物を育てる喜びを味わえること、また、普段見ることのできない野



野菜の成長を見守る滝本さん

たきもと
滝本 徳一さん（本宮）



野菜の収穫作業

菜の成長過程を楽しむことなどがありません。また、自分で育てた野菜を収穫し、食べたときの味は絶品です。獲れたてを食べることもできます。

農業に興味のある方は、家庭菜園という形で農作業を始めてみてはいかがでしょうか。

（情報員 川名 良子）

暮らしの豆知識 ～野菜の保存方法～

- 家庭菜園で獲れすぎたり、スーパーでついつい買いこんでしまう野菜ですが、種類によって、温度や置き方などの保存方法が異なり、間違った保存方法をしてしまうとすぐに傷んでしまったりして、品質が悪くなってしまいます。せっかく収穫した野菜、それぞれの特徴を理解し適切な保存を行い、できるだけ長く鮮度を保ち美味しい野菜を味わいましょう。

☆野菜の保存方法を紹介します!!

○トマト

ポリ袋に入れて密封し、へたを下にして冷蔵庫の野菜室に保存すると良い。冷やしすぎると味が落ちる。(7～10℃が適温です)

○とうもろこし

時間がたつと糖度が急速に低下するため、早く食べる。野菜室では立て置きし、ゆでてからは冷凍保存すると良い。

○キャベツ

野菜室で芯を下にして保存すると良い。水分保持のため芯をくりぬき、ぬらしたキッチンペーパーを詰めてポリ袋に入れて保存すると約2週間もつ。



「へた」
を下にして
保存!



旬の野菜（さつまいも）

～整腸作用や美肌効果が！～

- ホクホクした触感と甘みが特徴のさつまいもは9月から11月ごろに旬を迎えます。おかずからスイーツまで、様々な形で使われ食卓で大活躍しています。
- さつまいもは美味しいだけでなく、腸内環境を整える効果や生活習慣病の予防効果が期待できる栄養素が含まれます。さらに美肌効果も期待できる嬉しい食材です。

☆さつまいもの効能

○血圧を下げる

多く含まれるカリウムは体の水分バランスを保ち、正常な血圧を保つ効果があり、また、むくみ解消にもなります。

○腸内環境を整える

食物繊維を多く含み、また「ヤラピン」という栄養素が老廃物を排出し腸内をきれいにする効果があります。

○抗酸化作用

さつまいもに含まれるβカロテンは体内でビタミンAに変換され、皮膚や粘膜を丈夫にしたり、視力の維持、がんの予防、免疫力を高める効果が期待されています。

スイートポテトで
健康と美容をサポート!



農業委員・農地利用 最適化推進委員研修会に参加

令和5年度「農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」が、福島市飯坂町のパルセイりいさかで開催され、本市農業委員会からは遠藤会長および農地利用最適化推進委員4名の計5名が参加しました。

農村の過疎化が進行し、農業従事者の高齢化や担い手不足、それらを要因とする荒廃した農地の増大などにより、農業・農村を維持することが困難となるなか、法改正により、市町村の地域ごとに将来の農地利用の姿を描く「地域計画」、「目標地図」を策定することが定められました。農業委員・農地利用最適化推進委員はその「目標地図」の素案作成のための「話し合い」を行うなかで中心的な立場として大きな役割を担うこととなりました。

今回の研修会では、地域計画策定における農業委員・農地利用最適化委員の役割を再確認し、地域の話し合いを効果的に進めるための方法を学びました。



研修会の様子



他市町村と情報交換

研修会に参加しました

農地利用最適化推進委員

津田英明さん（岩根）



今回の研修では、法改正の内容を理解すること、その中心的な存在である農業委員会の役割、そして「目標地図」の素案作成の進め方とそのスキルを勉強しました。

昨今の農業を取り巻く環境は農業所得の減少や担い手不足により、遊休農地が増え、荒廃する農地も発生しています。地域の農地を将来耕し続けるために、どう利活用できるかを考える過渡期となり、私自身、農地パトロールを行い、実際に見た地域の農地の現状をふまえると、今後の農地のあり方について、非常に考えさせられました。

今後、こうした遊休農地の利活用や誰が利用していくかなどについて、皆様の地域でアンケートをとり、話し合う場がございます。その際には皆様の新しいアイデアで地域全体が笑顔で活気ある土地利用となるように、一緒に考えたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

地域計画

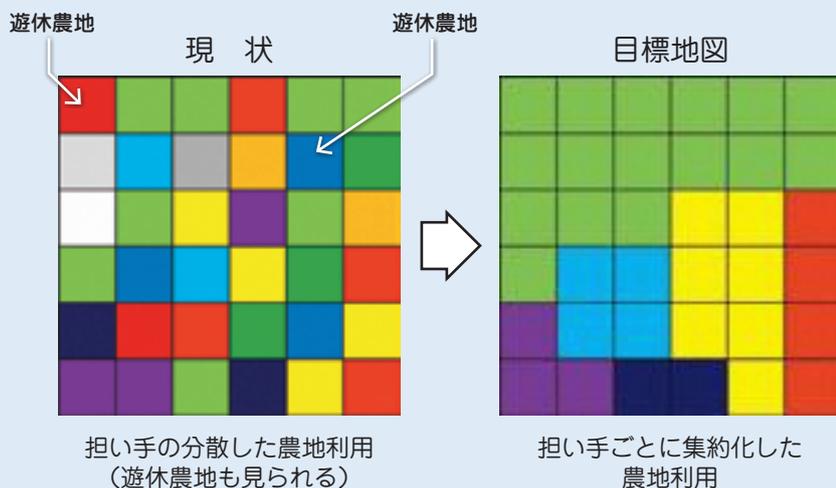
「目標地図のイメージ」

法改正により「地域計画」の策定が義務付けられ、本市では今後、市内各地区において、地域の農業を次世代に引き継いでいくため、農地を誰が利用し、どうまとめていくか話し合いを行います。

「目標地図」は、その話し合いの内容を定めた地図となります。

目標地図のイメージ

※担い手で色分け



主な農業機械

○コンバイン

コンバインは小さな段差でも傾きやすく、運転席からの死角も多くあります。ほ場進入路など狭い場所での移動では、補助者に誘導をお願いしたり、降車して路肩の状態を確認するなど、慎重な作業を行いましょう。また、ひかれ事故を防ぐために、後退する際には、周囲の状況を確認するとともに、ホーンを鳴らすなど合図をしてから作業する習慣を徹底しましょう。

○乗用型トラクター

乗用型トラクターの転倒、転落事故は、ほ場内だけでなく、ほ場進入路、公道においても多く発生しています。備えるべき機器（安全キャブ・フレーム・ランプ・反射板など）の再確認や、慎重な操作、安全確認、シートベルトの着用など徹底して行いましょう。

○農業運搬車

農業運搬車は、比較的小型の機械ですが、事故が発生した際の重症度が他の機械と比べて際立って高いという特徴があります。後退時の挟まれ防止には発進時の走行レバーの進行方向の確認や後方や足元の確認をする、転倒防止には、急発進、急停止をしないこと、荷物の過積載をしないことが基本的な対策になります。

秋になり、稲も黄色に色づき、収穫の時期となりました。この時期は、コンバインやトラクターなど、農業機械の作業中の事故が多く報告されています。若い人だけではなく、ベテランであっても「慣れ」や「焦り」が要因となった事故が毎年発生しています。作業を行う前には、ほ場などの危険な場所の確認や補修、安全な機械操作方法を徹底するとともに、作業者の能力や当日の体調に応じた計画を立てることが重要です。「あわてず」「無理せず」「ゆっくり」とを心がけて安全に農作業を行いましょう。

農業機械の作業による事故に注意!!



自然災害に備えて 農業保険に加入しましょう!

農業経営にはあらゆるリスクが存在します。さまざまなリスクをカバーしたいとき…

収入保険をお勧めします!

- 青色申告行っている農業者が対象
- すべての農産物を対象に自然災害や価格低下など、経営努力では避けられない収入減少を補償



※条件によっては、保険料の軽減措置もありますので、詳しくは農業共済組合へお問い合わせください。

福島県農業共済組合県北支所
TEL0243-23-7777(代)

農作業の安全に関する話し合いを しましょう!

作業中のちょっとした合間に近所の人とする世間話、そんな時に農作業の安全を話題にしてみてもいかがでしょうか。地域の農家が集まる機会を活用し話し合うなど、農作業の安全の意識向上に取り組んでいる地域もあります。まずは農作業の安全を話題にして、安全対策など共有しましょう。

農作業の安全についての主な話題

○次のことを農業者同士で共有

- ・それぞれの農業者の危険体験
- ・地域における危険箇所
- ・安全上こころがけていること、取り組んでいることなど

○農作業の安全確保に向けた対応策の検討など



遊休農地の有効利用

～本宮瀬樋内地区環境保全会の新しい取り組み～

「本宮瀬樋内地区環境保全会」は、もともと遊休農地であった田を利用して、矢車草、ひまわり、コスモスの3種類の景観植物を育てる取り組みをしています。

矢車草は春、ひまわりは夏、コスモスは秋にそれぞれ見所を迎えることから、季節により異なる花を楽しむことができます。

近所の人々が花を見に来て喜んでくれたり、最近では、写真を撮る人もいるとのことです。

保全会の会長である遠藤実さんは今後も、住民の皆様が喜び、楽しんでもらえるような新しい取り組みを行っていききたいとのことでした。

(情報員 川名良子)



矢車草

春から芽が吹き出し初夏には青色の鮮やかな花を咲かせる。



ひまわり

夏から秋に咲く。太陽の動きにつれてその方向を追うように花が回るからひまわり。



コスモス

秋の代表的な花。早いものは夏から咲き始める。ひまわりと一緒に咲いているところが見られるかも。



農地パトロールを実施しています

農業委員会で、農地の利用状況の調査や違反転用の防止などを目的に、現在すべての農地を対象に農地パトロールを実施しています。

今後、農地パトロールの結果「遊休農地」と判断された農地を対象に農地の有効利用を目的とした「利用意向調査」を実施する場合がありますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。



草刈り保全をお願いいたします

管理がされていない農地は害虫や病気の発生源になってしまったり、畑を荒らす猪など有害鳥獣の住処になってしまったりなど、近隣農地へ悪影響を与える可能性があります。適切な管理を行い優良な農地を守っていきましょ。



農地を相続した際は届出を提出下さい

土地の相続には、法務局での相続登記を行う必要があります。農地の場合、法務局での登記完了後、届出(農地法第3条の3第1項の規定による届出)の提出が必要となります。

●相続登記の申請が義務化されます

相続登記がされないと登記簿をみても所有者が分からず、事業や取引を進められないといった問題が起こります。この「所有者不明土地問題」を防ぐ法律が令和3年4月成立し、相続登記が義務化される法律が令和6年4月1日からスタートします。(スタートから3年間の猶予期間があります。)



農地の違反転用にご注意下さい!

農地転用とは、農地を農地以外のもの(住宅や駐車場など)にすることで、農地転用をする場合は農地法の許可が必要です。農地転用許可を得ずに無断で農地を転用したり、計画と違う転用を行った場合は農地法違反となり、工事の中止や原状回復などを求める場合がありますので、ご注意下さい。

●違反転用の罰則について

違反転用や原状回復命令については、以下の罰則の適用もあります。

- 個人：3年以下の懲役または300万円以下の罰金
- 法人：1億円以下の罰金 (農地法第64条、67条)

農業者年金に加入しましょう ~安心して豊かな老後を~

- ①35歳未満で一定の要件を満たせば、1万円からでも加入可能
- ②認定農業者で青色申告者などには国庫補助で手厚い支援
- ③税制面で大きな優遇措置(社会保険料の控除対象)

※ご加入をご希望の際は農業委員会にご相談下さい。

○インターネットで年金シミュレーターを使ってみよう

生年月日、保険料など必要事項を入力することで将来もらえる年金が計算できます。将来の生活設計にぜひご利用ください!
※年金シミュレーターは農業者年金基金トップページ中段にあります。



全国農業新聞を読もう!

農業に役立つ
情報満載です!

- 発行日/毎週金曜日
- 購読料/月額700円



農業委員会定例会 日程・申請書の締切日

定例会日程	申請書締切日
10月20日	10月2日
11月22日	11月1日
12月22日	12月1日
1月19日	1月4日

※日程変更になる場合がありますのでご了承ください。

農業委員会だより記事の募集

農業委員会は広報紙「農業委員会だより」を通して市内の農業に関わるイベントや活動、農業に役立つ情報をお届けしております。

広報に掲載してほしいという農業に関わるイベント、活動、自宅の自慢の家庭菜園など、情報がありましたらご連絡ください。ぜひ、取材をさせてください。

広報編集委員
 三石阿遠川渡
 瓶橋部藤名辺
 和広修栄良善
 彦基司郎子幸

今年の夏は梅雨が明けると同時に猛暑の毎日。8月に入ってから毎日熱中症アラートの報道がされ、人間だけでなく、農作物の品質管理も大変だったと思います。「地球沸騰」した夏でした。今年の稲刈り作業は早くなりそうです。今月号の記事にもありましたが農作業中の事故には十分にお気を付け下さい。まだまだ暑い日が続きますが皆様どうぞご自愛ください。今後とも農業委員会だよりをよろしくお願ひします。(渡辺 善幸)

編集後記



市の木：まゆみ(榎)